

平成 25 年度 すぎなみ大人塾月曜コース

だがしや楽校を開こう！「自分みせ」からつながる広がる地域と出会い

第1回:ガイダンス「だがしや楽校」って、なに？

学習支援者 松田道雄 東北芸術工科大学教授

学習支援補助者 谷原博子

2013年6月10日(月曜日)午前10時から12時

於:セシオン杉並

杉並区教育委員会生涯学習スポーツ担当部長 本橋

本日は、すぎなみ大人塾月曜コースに、ご参加頂きまして、誠にありがとうございます。杉並区の教育委員会勤務の2年間の中で、私たちの仕事は人と人をつなげる機会や場を作ることなんだと分かってきました。こうした機会を通して、皆様がつながっていき、より楽しい生活を送って頂くのを目標としております。半年に渡りますが、みなさんの楽しさ、充実感、つながり作りになれば幸いです。どうぞ、よろしく願いいたします。

杉並区教育委員会社会教育主事 中曽根 聡

これから、約10回のすぎなみ大人塾月曜コースが始まります。数年前、だがしや学校の発案者の松田先生に声をかけたのが始まりです。ちょうどセシオンの近くの大学に勤務されていて、これは良いなと思って、お声をかけさせて頂きました。だがし屋というイメージが、すごく良いと思っています。だがし屋は、お菓子や玩具など、ちょっとしたものを媒介にして、子どもが集まっています。わいわいと楽しんだり、友達と出会ったり。みなさんも、そんなイメージをお持ちだと思います。私自身、だがしや楽校という名前に惹かれたのです。すぎなみ大人塾には、「自分をふりかえり、社会とのつながりを見つける。大人の放課後」というキャッチフレーズがあります。この思いと、だがしや楽校の雰囲気がとても近いと感じています。「なんとなく楽しそう」「なにか出来そう」そんな大人塾月曜コースを進めたいと思っています。参加者の年代も30代から70代と幅広いです。なかなか、こういう機会はないですね。

お互いの自分らしさ、関心のあることを出し合いながら、地域づくりをしていきます。地域を作るというと大きな話に聞こえますが、始まりは、ひとりとひとりの対話です。そのきっかけが、だがしや楽校だと思います。みんなで話し、みんなで経験する。それから、地域を考えていく。みなさんが、こうしたいと思うこと、気付いたことから動いてみて、実際にやってみる。そして、そこで感じたことを振り返る。そういう学びの場になっていけたらと思います。自分から積極的に関わるともっと楽しくなるでしょう。資格がもらえ

るというプログラムではないので、様々な方が出入りできるプラットフォームのような場所です。みなさんがここで出会って、何かをやっていく。そんな開かれた場となればと思います。途中で入ってきた方も仲間にするような場になれば幸いです。静岡の焼津でも、だがしや楽校をテーマに講座が開かれています。また、いろんな地域で、だがしや楽校が開かれていますので、そこに行ってみようということもあるかもしれません。他の地域とも関われるようなこともあれば、情報を提供いたします。それをどう活かすか、どうかたちにしていくかは、みなさん次第です。お互いの持ち味を活かし、地域をこえて、杉並の持っているもの、他の地域が持っているものをつなげていくのも、だがしや楽校の楽しさのひとつです。すこしずつ、みなさんの居心地の良い場所にしていただければ幸いです。これからも、どうぞよろしくお願いいたします。

社会教育センター事務局(担当職員)坂本

月曜コース担当の坂本です。今年で、2回目の担当となります。大人塾は、初めて出会った方がお互いに学び合う機会です。私も、学ばせて頂くつもりで参加させていただきます。また、みなさまの学びのサポートをさせていただきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

社会教育センター事務局(担当職員)椋山

4月から初めての担当となりました。みなさんと一緒に学ばせていただきます。どうぞよろしくおねがいします。

社会教育センター事務局 松坂

大人塾の統括と土曜コースを担当しております。皆さまの学びを拝見しに、お邪魔いたしますが、どうぞよろしくおねがいします。

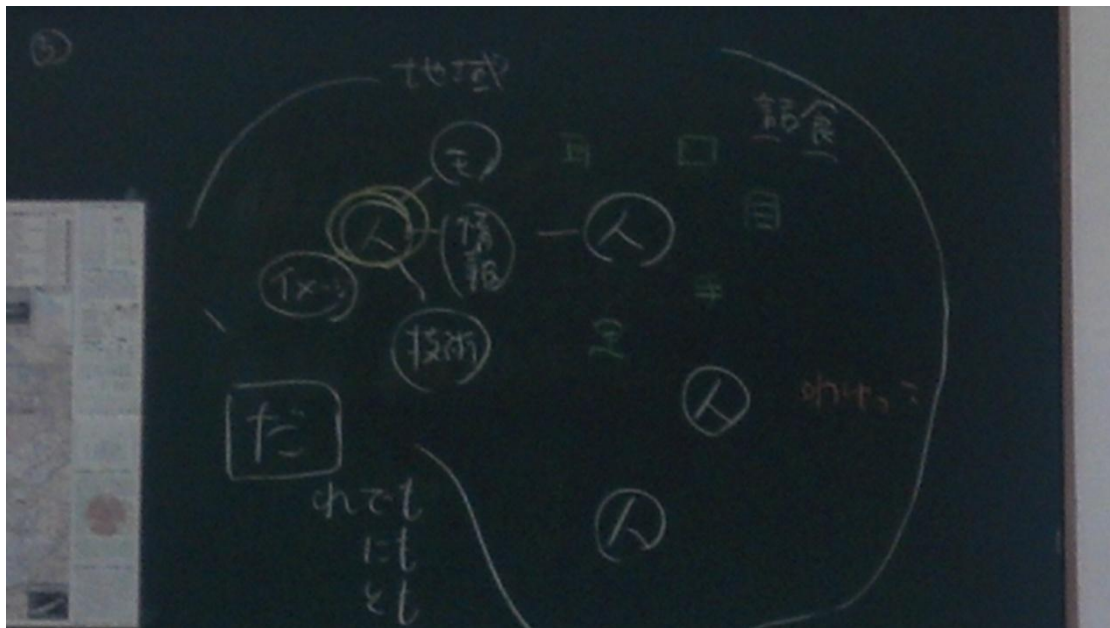
社会教育センター事務局 湊

土曜コース担当の湊です。土曜は哲学です。とても難しい話をしているコースになります。月曜コースは、お土産がたくさん集まるステキなコースです。そういうときにも混ぜて頂けたら嬉しいです。どうぞよろしくお願いいたします。

学習支援者 松田

はじめまして松田です。山形弁まるだしですが、どうぞよろしくおねがいします。さきほど、中曽根さんからエッセンスを伝えていただきましたね。人と人をつなげるときや、つながる時は、五感を使い、言葉と文字も使って、身体を動かし、情報をえたり、発信

します。学校の授業というのは、一方通行でしたよね。先生から生徒に一方的に情報が送られる。将来の良き社会人を作るために教えられているから、当然ですよ。学校生活が終わったら、日常生活です。一方通行で得たものが、どこまで活かせるのでしょうか。だがし屋は、小さなフリーマーケットです。お菓子の販売を通して、お客さんとお店がつながっています。人は何かを媒介にして、誰かとつながっていきます。これが原型です。ネットやコンビニがなかった時代の商店を思い出してください。人と人がつながっていましたよね。昔は、人がつながりやすかったです。人間らしいつながりを作るために、やっていきましょう。私は学習支援者という立場ですが、みなさんと同じようなメンバーです。もし、誰かの話を座学で聞きたい時には、教えて下さい。聞く機会をみんなで作りましょう。一方的な講座ではなく、いろんな場所に出て行って学びます。他の人も、この講座にどんどん誘いましょう。誘い方も大事ですよ。



その前に、みなさんにお土産を持って参りました。こちらは、山形県のお菓子です。日本で最初にミルクを固めた会社のものです。ぜひ、召し上がってみてください。このカバンは、何で出来ていると思いますか？くるみなんです。地元のおばあさんに教えてもらいました。農作業のあと、2日で編めるそうです。



この毛糸は、ぜんまいの上の綿毛からつくったものです。地元のおじいさんが作って、名古屋の繊維工場が仕上げをしています。私は、何か作れるわけではありません。ただ、コーディネーターをやらせて頂いています。一緒にやってみたり、人と人をつなげてみたり。プロのデザイナーに頼んでカッコ良くしてくれと頼まれましたが、「一番思い入れがあるんだから、自分でデザインしてみてください」と、自分でデザインしてもらいました。なかなか良いでしょうか？僕は、あくまでおじいさんの学習を手伝っただけなのです。デザインして、説明をつけると、ブランド化して、広い場所で売れるようになります。みなさんも何か気づいたり、何かをやってみたことがあるでしょう。次回以降、みなさんが知っている面白い方、面白いことを教えてください。新たな人の出会いがすごく大事なのです。人の出会いをみんなで生み出していければステキですね。



だがしは、小さくわけあえますよね。だがしの良さは、垣根を低くして、おすそわけできるところです。高級なお菓子や上納品とは違います。山形で、おしゃべり手芸の会が生まれています。手芸をしながら、おしゃべりをして、一緒に学びあう会です。あるおばあちゃんが、自分の持っている編み物の技で、ペットボトルのバッグをつくって、お

すそわけしたのです。今では、仲間が広がり、おしゃべりをしながら楽しく編み物をしています。メンバーで固まらないのが良いですね。

おばあさんが、コーディネーターとなって、つながりを作ったのです。お互い様の感覚で、互いに体験して学んでいきましょう。講座のコメントなど、お互いにメールで交換しあうのも良いですね。交換といえば、焼津と栃木で、ふるさとの特産品の交換をしています。お互いの特産品を知る機会になりますし、交流になります。一緒につくっていく感覚でいきましょう。それでは食べながら自己紹介をしていきますか。自己紹介は、自分の好きなこと、得意なことを発表して頂くのも良いですが、あそこのお店が気になる。こんな面白い人がいる。こんな友人を紹介したいなど、おすそわけになるようなことも書いていただいてもOKです。



今年はこんな方がご参加されました(抜粋)

踊りが好きで、老人福祉施設で踊れるようになりました。
エコや手作りの品も大好きです。

木工が趣味です。また、落語が好きです。
杉並区で環境系のボランティアをしています。

楽器の演奏を長くやっております。また、仕事から、パソコンはプロです。一日は短いので、なるべく充実した日にしたいです。

クラシック音楽が好きで、趣味は寝ることと新聞を読むこと。最近、気になることは水泳と散歩です。

杉並大好きな人間です。ずっと現役で働いて、地元のことを知りたいとおもい、参加させて頂きました。趣味は写真と模型作り、そして旅行です。

杉並区出身です。人とつながりあいながら、音楽を楽しんでいただけたらと思い、活動していきたいです。パンが大好きですので、おすすめのパン屋があれば教えてください。

学習支援者 松田

みなさん個性的ですね。これをご縁にいろんなことができたらと願います。半年後、さらに講座が終わった後にはもっと豊かな自分と人のつながりができると思います。今日は杉並カルタをする時間がないので、移動しながら自己紹介をしてみてください。では、これからの講座の進め方をご説明いたします。座学で終わるよりも、体験型を進めていきたいです。イメージとしては、何かを持ってきていただいたり、紹介していただいて、みなさんにおすそわけしていただきます。それについて、みんなで体感していく方法です。

それから、参加してみたい人、面白い人をお呼びいただいてもかまいません。こうして、人のつながりをふやしていき、8月の日曜日に実際に外でだがしや楽校をやっていきます。マニュアルでびっしりやるよりも、地域活動は論理ではなく感情。あいまいなところから進んでいくと、また広がるところもあるんです。一緒につくりあげていく感じです。寛容にも通じていますよね。手ぶらで来ないと書きましたが、これは次回のために、あの人のために何かを持ってくる気持ちのことです。お土産でも情報でも良いです。何かのエキスパートである必要はありません。いるだけでありがたい。どんな人でも、お互いに何か共感しあえるところがあります。存在そのものありがたいので、ゆるやかに楽しんでいきましょう。宿題ではないですが、もし時間があれば、今日の講座の

感想や気付いたこと、日常生活で思ったこと、こんなことを伝えたいなど、考えを補って、深めるためにも作文はいかがでしょう。全部書く必要はありませんよ。書きたい量でけっこうです。お互いに学び合う道具にしていきたいと思っています。それでは、半年間よろしくおねがいたします。

6/10	自己紹介	
6/17	自分みせを増やす	誰でも参加
7/22	考える体感	手ぶらで来ない (心の中で)
8/5	準備	だがし屋楽校 ニコニコロード商店街
8/26		
9/2	まとめ これから	
9/30	多様な活動に応用	
10/7	だがしや楽校 第2回	